

光徳小学校の「光徳学校」扁額



光徳小学校の玄関にかかげられている扁額

光徳小学校の正面玄関を入ると、「光徳学校」と書かれた扁額が掲げられています。また扁額と同じ文字で書かれた、木製看板も大切に保存されています。

明治22年（1889）12月に、倉谷簡易小学校と東坪簡易小学校を統合して、光徳尋常小学校が東坪字上澤512に、2階建ての校舎を新築して創設されました。この当時

汗入地方（今の中山町西部から淀江町東部）で、新築の校舎を持つ学校はなく、光徳尋常小学校が初めての建物で、あちこちから見に来る人が多くあつたそうです。

「光徳学校」の扁額は、東久世通禧によって明治24年に、書かれたものと思われ、幕末には公家として、明治になってからは政治家として活躍した東久世通禧は、幕末には

国事御用掛・国事参政に就任し、尊皇攘夷派として活動していました。しかし文久3年（1863）8月18日に、公武合体派が朝廷内を主導していた尊皇攘夷派を追放する政変が起こりました。

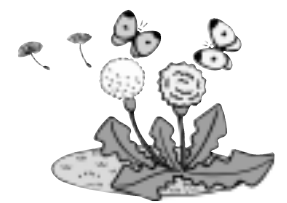
尊皇攘夷派の三美美・三西西・東久世通禧・壬生基修・四條隆詞・錦小路頼徳・沢宣嘉の7人は、尊皇攘夷派の拠点であった長州（今の山口県）に落ちて（京から地方へ追われて）行きました。この政変を世に「七卿落ち」と言います。

このように東久世通禧は一度は政治の舞台から外れましたが、明治維新後は新政府に入り、外国事務総督・神奈川府知事・開拓使長官などを経て、明治4年から6年（1871～1873）には、岩倉遣外使節団に理事官として加わり欧米各国を視察してきました。帰国後は、元老院議員・元老院副議長・枢密顧問官・貴族院副議長・枢密院副議長を歴任し、伯爵になった人です。号を竹亭・古帆軒と称していました。なぜ光徳小学校に、このような人によって書かれた扁額があるか謎です。（名和町歴史研究会 金田 千義）

俳句を作ってみませんか

「笹鳴句会」は、平成15年5月から公民館のサークル活動として句作しています。

毎月第2火曜日の午後1時から、美柑みつはる先生大（山町）をお迎えして、その指導により勉強しています。自分の目で見たこと、感動したこと、心にとめたことなどを五・七・五にまとめた俳句を先生にご指導いただくとともに、相互の意見交換をしながら、楽しく句作をおこなっています。みなさんも俳句を作ってみませんか。あなたの参加をお待ちしています。



こんなことやってます！ 公民館サークル紹介 ③7 笹鳴句会



年間活動予定

- 【活動日】 毎月第2火曜日 午後1時～午後5時
【その他】 11月 公民館サークル発表会
【代表者】 橋本 昭子さん(御来屋6区)
【会費】 1,000円(月額)
【問い合わせ先】 公民館(54 2688)

私の傑作コーナー

曙短歌会

*印は新仮名

- 庭先に黄あざやかな福寿草春を上げおり風寒き日に 遠藤 定子
* 風花の幾片がそれ病む君の窓にふうわり光りつつ舞う 金田美彌子
みちのくの旅にて聞ける師の訃報あまりに遠く来たる悲しみ 塩谷 肇子
夕風に旋律ありや裸木の梢に鴉と停まる太陽 角 公邦
朝晩の冷えの身に沁む老いの身の衰虫となりベットの所に 角田 文字
* おみくじを見せ合いながら老夫婦むすんだ梅に二拍手一礼 寺井 悦子
両岸の堀の立ち木の伸びし枝にうすく被れる立春の雪 戸野 愛子
* 「チョコレート誰もくれぬ」とつぶやいた人ふと思ひ出す如月に 一宮留美子
* 岸に立つわれを恐れぬゆりかもめ群れて護岸に横むきしまま 野口 律子
「せり、なすな」「ややありてまた「せり、なすな」「子は七草を誦んじあそぶ 森本 怜子
* 卒業し弁当作り終わりたる風呂敷しまつ引き出し深く 山口 恭子

笹鳴句会

- 陽炎にむかつて少年走りだす 逢坂 常盤
水音の豊かに村の梅真白 國谷 麗子
日脚のぶ古本市の店先に 砂口菜二子
葦の角暮れる湖畔の水明り 津村 春水
牡丹の芽ほぐる紅の風渡る 角田 久子
苧菜の芽不揃ひに雨優し 宮川 節子
陽炎を透かして遠き山のいろ 橋本 昭子

みふね句会

- 水温む遊具の馬に鞭打たむ 秋山多喜子
村挙げて閨を奉ず梅二月 来海 忠満
菜の花や奥飛驒の牛人怖れ 国谷 耕川
梅ほのか百を重ねし伯母の葬 高島 満代
茶巾ほす明るさにある花櫛 津村 春水
門川の小さき落差や水温む 中川 幸宗
白梅や故人を偲び僧とをり 榊田 福女
峡の里流れに彩あり水温む 松井 愛子
菊根分け手元に夕日置きながら 美柑みつはる